



かつての頂上は



こんなに荒れていた。



植生復活 !!



頂上では  
ダイセンキャラボクが……



さあ、調査調査。



頭上注意！



GPSの準備はいいカー？

# さよなら 大山実習



大山実習後のお楽しみ。鳴砂の海岸にて  
ハイチーズ！



世紀末にして最後の大山実習に  
参加したメンバー。お疲れ様でした。



「えーと……  
これはどう使ってたっけ？」



実習後のデータ整理。

コース制からプログラム制への  
移行の関係で、昨年をもって  
大山実習が終わりました。

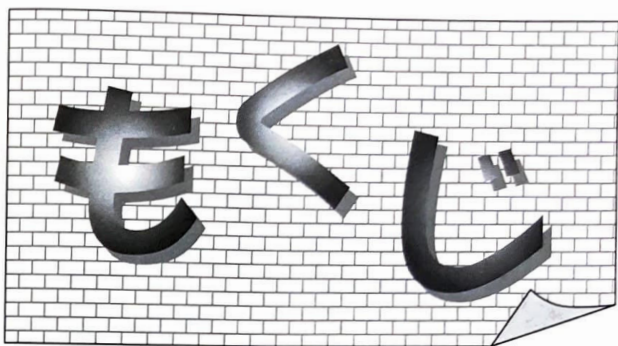
## 研究室紹介

社会環境研究講座	市川浩研究室……………三二
制作科学講座	吉田純子研究室……………三三
物質科学講座	宇田川眞行研究室……………三四
生物圏科学研究科	環境循環系制御学専攻基幹講座
竹田一彦研究室……………三六	
言語文化研究講座	今里智晃研究室……………三八
広域文化研究講座	フंक・カロン研究室……………三九
行動科学講座	磨井祥夫研究室……………四〇
自然環境科学講座	井鷲裕司研究室……………四二

特集3  
中国地域インターンシップ  
突撃インタビュー!!……………二八

後援会……………四四  
お知らせ……………四五  
エッセイ  
東南アジア滞在記……………四六  
人事異動・新任教官紹介……………四八

読者からの声……………四九  
編集後記……………五〇



## 飛翔60号

### 大特集 総合科学部のVision

特集2  
ごみ分別収集促進広告……………二〇  
映画のお話……………二五  
研究レポート……………二六

特集1  
第一編 総合科学部入門……………八  
「総合科学部入学制度」  
「転学部」  
第二編 総合科学部……………一二  
「総科の歴史―飛翔とともに―」  
「私たちは問いつづけた」  
第三編 大学生活……………一六  
「大学で何が学べるか」  
「なぜなにもうと彦の大学生活のススメ」

巻頭言……………六

# 21世紀のスタートにあたって



総合科学部長  
江口 正晃

我々は激動の二十世紀末から新たな世紀へと一步を踏み出した。IT技術の革新で世界は一気に縮まり、四六時中どこからでも情報交換が可能となったことを象徴としながら、経済、社会、文化などの諸活動すべてが多大な影響を受け、我々も変革を余儀なくされている。そしてそれは、規模の大きさ、質的内容の多様性およびその変化の早さにおいて、「あらゆる分野に怒濤のごとく」と言っても過言ではない。

学生諸君にとって、このような激動期の社会で生きていくためには何が最も必要なことであろうか。飛翔の前号にも書いたことであるが、自分の人生設計をする上で、「現在」から、自らが生きていく「未来」を見据え、そこで生きていくために必要な学問的基礎力、総合的判断力や「生きる力」を身につけておくことであろう。総合科学部の特性を活かして、自らの目標・目的に合わせてながら、かつ、幅広く学ぶことの必要性を、人生の一先輩として説いておきたい。そういう時代だからこそ、総合科学部の理念である「学際性、総合性、国際性」が重要な時代ではないかと私は感じているからである。そして、親や人のためではなく、また、大学や先生から与えられるからではなく、自らが生きていくための力を蓄えるた

めに学問をするという自覚を求めたい。一方で、それらの実践を通じて、大学を改革するための提言をしてくれることも我々は待っている。

さて、昨年六月の評議会で承認された本学のマスタープランに沿って、本学では「総合研究大学 (Research University)」を目指した大学院改革が進められつつある。その中で、総合科学部の側から眺めると、現在幾つもの大学院に枝分かれしている状況を改革して、新しく総合科学部の上に大学院を創ることが検討されている。この号が発行される頃には何らかの大学としての方針が決まり、文部科学省との間で、設置のための交渉が進み始めるのではないかと思っている。そして、皆さんたちが卒業する頃には、ぜひこれを実現させたいものである。

飛翔21世紀初号、60号記念特集

# The vision of SOKA

# Faculty of Integrated Arts and Sciences

## 特集一のページ構成

- 第一編 総合科学部入門  
「総合科学部入学制度」  
「転学部」
- 第二編 総合科学部  
「総科の歴史―飛翔とともに―」  
「私たちは問いつづけた」
- 第三編 大学生活  
「大学で何が学べるか」  
「なぜなにうさ彦の大学生活のススメ」

※今回の内容につきまして、アンケート回収率の都合上、実際には超域研究以外の専門的教育を受けていない当時一年生(二二生)の意見が大半を占めてしまいましたことをお断りさせていただきます。

※今回の特集作成に当たり、貴重な資料を提供して下さった方々、アンケートに御協力いただいた方々、及び特集編集作業にご協力いただいた方々に対しまして、心より感謝し、お礼を申し上げます。

飛翔特集一企画部一同

第一編 総合科学部入門

「総合科学部入学制度」

「転学部」

第二編 総合科学部

「総科の歴史―飛翔とともに―」

「私たちは問いつづけた」

第三編 大学生活

「大学で何が学べるか」

「なぜなにうさ彦の大学生活のススメ」

# 広島大学総合科学部入学制度

平成12年度（13年度入学者）から開始しました

## フェニックス入試って？

高度な生涯学習の機会を提供し、高齢者層の学位習得を促します。自らの学習目標に沿って柔軟なカリキュラムを組んで学習ができます。広島大学が全国に先駆けて行う新しい入学制度です。

## 受験資格は何ですか？

次の2つの条件を満たす必要があります。  
・入学年度4月1日現在満50歳以上  
・高等学校卒業（出願年度に卒業予定）、又はこれと同等な学力を認められるもの（一般入試と同様）  
\*他学部は60歳以上です。

# フェニックス入試

平成13年度入学試験の総合科学部での合格者は7名でした。新しい入学制度導入により、一般入試入学の学生にも刺激になります。一般入試との併願も可能です。



# new! 3年次編入学

## 受験資格は？

次のいずれかの条件を満たす必要があります。

- ・短期大学又は高等専門学校を卒業、卒業見込みのもの
- ・専修学校で修業年限が二年を越え、授業時間が一七〇〇時間以上を修了、修了見込みのもの
- ・大学を卒業、卒業見込みのもの
- ・大学に二年以上在学し、六二単位以上習得したもので、習得見込みのもの

・学校教育法施行規則第九二条の三項の定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校の過程を修了、卒業したものは入学後は希望プログラム（コース）の三年次として編入されます。

## 既取得単位については

規定に従い、単位として認定されます。入学後に所定の方法に従って申請書を提出してください。単位認定がされないものもあり、認定の結果によっては二年間で卒業ができないこともあります。

## 選抜方法は？

- <科目試験>
    - ・小論文（90分）
    - ・面接
  - <選考資料>
    - ・志望理由書
    - ・健康診断
- 募集人数は？  
若干名

# 社会人特別選抜試験

# 帰国子女特別選抜

一九八二年に始まった入学制度。当時、募集人員は、約五名（当時の合格者は五名にも満たない）としていた。現在は、若干名としている。不合格で、センター試験に出願している者は、一般試験による受験もできる。選考は、第一次選考（書類審査）と、第二次選考（小論文、面接）で行う。

## 平成13年度入学試験

志願者	8名
受験者	6名
合格者	5名

# 科目等履修生

- ☆科目等履修生とは？  
一般の学生以外の者で、学部が開設している授業科目を履修できる学生。
- ☆学部への入学資格  
高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者
- ☆大学院への入学資格  
大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する者

## 受験資格

- ・外国において学校教育における一二年過程を修了又は修了見込みのもの
- ・国際バカロレア資格証書
- ・アビトゥア資格
- ・バカロレア資格

注) 日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校の在学者は、認められない。

一般入試での入学はもちろんのこと、他にも  
・私費外国人留学生  
・研究生  
として総科に入ることができます。

## 受験に関するお問い合わせ

■広島大学総合科学部  
〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1  
Tel 0824-24-6315  
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/souka/index.htm>

■広島大学学生部入試課  
〒739-8511 東広島市鏡山1-3-2  
<http://www.bur.hiroshima-u.ac.jp/~nyusi/>

\*本内容は平成一二年度の要綱に基づいて作成しており、一三年度以降は若干の変更がある場合があります。受験に関する詳しい内容は大学のホームページをご覧ください。あるいは電子メールや電話等で直接お問い合わせ下さい。

# 転学部

学校教育学部から転学部された、堀部正拓さん、工学部から転学部された三宅彩子さんのお二人に話を伺いました。

2月上旬 転学部届をチューターに提出

志望するプログラムを1つ指定して出願する。(これはプログラム定員30人の人数制限には含まれない)

3月中旬 試験

各学部によって選考方法は違うが、総科の場合、志望動機、入学試験の成績、学業成績が審議され、学生自身が受ける試験としては面接試験がある。

4月上旬 合格発表

## → 転学部の流れ

○どうして転学部しようと思われたのですか？

(堀部) 学校教育学部は教員養成が目的であるため、在学中の講義が入学時からプログラム化されています。そのため、自分の取りたい講義や先生を思うように選べなかったのです。学びたいことを学べない環境に日々不満を感じていました。

(三宅) 環境問題、特に生態系について大学でやりたかったのですが、工学部は室内の実験が多く、自分の考えている環境への取り組み方と違うと考えたからです。

○なぜ総合科学部を選んだのですか？

(堀部) 一年次の教養的教育科目で総合科学部の社会科学コース(現環境共生プログラム)に所属されている先生方の講義に感銘を受け、この

コースで学んでみたいと思ったからです。また学問には多面的な視点からの分析が必要だと考えていたので、総合科学部のしなやかな制度に魅力を感じました。

(三宅) 工学部にも発酵コースという生物を扱うところがあったのですが、「人」が中心だと思いました。総合科学部の方はフィールドワークが多くて、より自然に接することができると思ったからです。環境をやるにはやはり「自然」を中心に見ていかなければと考えました。

○いつ頃から転学部しようと考え始めたのですか？

(堀部) 転学部制度の存在を知ったのは一セメの終わりごろです。すぐに総合科学部への転学部を決意しました。(三宅) 九月ごろに転学部を決めました。

○転学部する際に何か苦労がありましたか？

(堀部) もし転学部が認められなかったら...というプレッシャーに苦しみました。

(三宅) 総合科学部のコース説明会に総合科学部生のフリをして受けたら、教官の研究室まで質問に行ったりしました。

○実際、総合科学部に入ってみてどうですか？

(堀部) 非常に満足しています。しいて言えば、他学部で修得できる専門科目の単位数に上限があることが不満ですが、総合科学部に転学部して本当によかったです。

(三宅) 視野が広がって、興味があるものを自分で掘り下げていくことができるけれど、逆に何が一番大切なのかわからなくなる時があります。経済・法学関係も勉強で

きると思っていたけれど、時間割を組むのが難しく気が付くと物理関係ばかりになってしまいました。

○テストの時の印象はどうでしたか？

(堀部) 面接試験でした。試験官の先生方の質問をよく聞き、考え、答えました。

(三宅) 面接で試験官のひとりが、以前、相談に乗ってもらった先生でびっくりしました。うまく話せなかったところをフォローしてもらいました。

○周囲の反対はなかったのですか？

(堀部) 全くといっていいほどありませんでした。応援してくださる方は多くいました。

(三宅) 総合科学部がわかりにくい学部なので、家族か

ら反対がありました。友達には「やってみたいんじゃない」と言われ、応援してもらえませんでした。

○勉強していききたいことを教えてください。

(堀部) これから世界はどのような方向へ向かっていくのか、それに対して我々はなにをするべきなのかという問題を法学、経済学など多様な視点から考えていきたいです。さしあたりは、世界的な通信盗聴包囲網UKUSAなどの分析をはじめとするアクチュアルな問題を研究しながら、それらの分析をウォーラーステインの世界システム論のような考えとつなげていくことができればと考えています。

(三宅) 生態系を勉強してもっと自然のシステムについて知りたいです。

○これから転学部しようと思っている人へのメッセージ。

(堀部) もしわからないことがあったら何でも気軽に聞きにきてください。岡本篤高助教授の研究室を訪ねれば、連絡がとれるはずですので。それと、人間関係が嫌になっ転学部を希望したいという話をたまに聞きますが、それは全く馬鹿げた考えなのでやめておいたほうがいいと思います。

(三宅) 転学部したということだけに満足しないことです。学部を移ってからが大切です。また、自分の力だけではわからないこともでてきますが、それに負けないようがんばってください。

(取材) 近藤由紀  
村田圭太郎

# 総科の歴史—飛翔とともに—

## 略式総科年表

昭和四四年	教養部改革委員会発定（二月一六日）
昭和四六年	教養部改革委員会改組など
昭和四七年	今増誠二教養部長就任（のち初代学部長）
昭和四九年	参議院本会議通過で学部設置正式決定
昭和五〇年	総合科学部設置（六月七日）
昭和五〇年	第一期生入学式（七月八日、二二名入学）
昭和五〇年	『総合科学（のち飛翔）』発行
昭和五〇年	授業開始（七月一日）
昭和五〇年	記念行事、式典など
昭和五〇年	『飛翔』創刊
昭和五〇年	教養部廃止（三月二三日）
昭和五〇年	大学院環境科学研究科、地域研究科設置
昭和六〇年	大学院生物圏科学研究科設置
昭和六〇年	大学院社会科学部研究科設置
昭和六〇年	大学院環境科学研究科廃止
平成元年	大学院地域研究科廃止
平成五年	学部の東広島キャンパス移転

## 総科そうだった！

飛翔は創刊から現在に至るまで、教官・事務職員・学生の三者で作ることとなっている。飛翔の前身「総合科学」編集後記によると、総合科学部の「航海日誌」と表現されており、「この新しい学問の未来像を具体的に描き出すことを目的とする。」とある。また、「教官と学生と事務官相互の交流の場となることを期待している。」とある。総合科学部のあるべき姿を問いつづけ、時代を記録していくことが飛翔の学部広報誌としての果たすべき役割である。

### 総科の名称

学部の名称は昭和四六年に決まった。「総合科学部」以外に、同年には、「教養学部」「一般科学部」「広域科学部」「広域基礎科学部」「科学部」というのが候補に挙がっていた。

### 最初の講義

第一期生は、七月に入学したために、夏休みを返上して講義を受けた。時間は午前八時四〇分から午後四時五十分の四科目のフルコマ。その上、当時は旧キャンパス（広島市内）冷暖房完備ではなかったため、さぞや暑いなかでの勉強だったことだろう。

### 学部のオリキャンはいつ始まった？

第二回目の総合科学部オリエンテーションキャン（当時はフレキャン）は、平成五年に広島市青少年野外活動センターで行われた。参加者は総勢三百人。それまでは全学部単位でキャンパスを行っていたが、この年から廃止になった。学部オリキャンは、学生達の積極的な努力により、実現した。

## 私たちは問いつづけてきた—26年間—

「答えはきつと、すぐそこにあるはず」そう信じて  
それは羽ばたけない鳥、羽ばたこうとしない鳥  
世の中はそこに全てがあるわけではない  
私たちは羽ばたかなければならない  
自分の答えを見つけるために

### そして、これから

#### ▼学部の理念▲

- 一 複数の分野にまたがる学際的な領域や、既存の学問的枠組みを越えた新領域への知的関心を喚起し育成する
  - 二 深い観察、独創的な実験、豊かな想像力によって、固有の知的空間の創出を目指す
  - 三 常に学問的関心を抱きつづけ、たえず新しい知的状況に対応できる、自己を発見し革新していく自主的、自立的な人間を育成する
  - 四 異文化とその底を流れるエネルギーを深く共感すると同時に、自己を説得力をもって提示することの可能な、国際社会に活躍できる人材を育成する。
- （平成二二年度学生便覧より）

#### ▼この記事について

超域研究の授業の中で教官と学生の座談会形式の授業を行い、授業後に第三回超域研究アンケートを行い、その質問項目、今日の授業を聞いて、あなたにとっての「総合科学部とは」という部分を中心に作成しています。その他、飛翔アンケートから引用しています。

#### ▼何をやっていっているのか、他学部との違いがあるのだろうか、特色がないように思える。（工学部・〇九生）

私の場合、経済や言語、情報も学べ、教員免許も取得できる総科を選んだわけだけど、総科の魅力は、一つの学問に限らず興味ある学問、いろいろな部分ではエキスパートになれる可能性を含んでいるところだと思ってる。もちろん一つに絞り込むことは難点な学部かもしれない。例えば、言語に絞り込んだところで、英米文学部と同じでは意味がない。言語を学び、それに重なり合う、自分の興味あることも学べるところが特徴だと思ってる。

一つの物事について、様々な学問領域からアプローチすることで、より正確にその物事を理解していくことを目指している学部だと思う。自分の一番興味のある分野を選んで、必要に応じて他の分野の知識や思考を取り入れていけばいいと思うし、それができるのも総合科学部だからだと思う。そして、どこで他分野を取り入れるかを見極める力をつけることが一番重要だと思う。

他学部とは違って学問の領域を越えて幅広く学べるというのが最大の利点である。一、二年の間は幅広く学んで柔軟性をつけると同時に自分の

進む方向を決め、三、四年では今までに学んだことを生かして専門に入った方がいいと思う。総合科学部はうまく利用したらすごく良い学部だと思ってる。

文理にわかれていたって、文系の人が理系に友人・知人を持つていけば、それなりに影響を受けることだってあるだろうし、頼りにすることだってあるだろう。それに研究室同士が近いというのも総合科学部の一つの利点である。

#### ▼どこらへんが総合？（生一・二生）

色んな問題について多くの視点から考えたり、いろいろな分野の学問に関連つけて考えることで新しい発見があり、より深かったり、あるいはより現実的であったりする考え方ができる学部だと思う。

他の学部では、大抵同じ考えをしていたりして、幅のある意見を聞けないと思う。授業の面でも、内容の偏りが無く取れるので、あらゆる情報を、浅くではあるけれど、取り入れることができると思う。

▼広い教養の上には犠牲はつきもの  
その良し悪しを決めるのは自分  
(入学から)半年経ってわかったの  
ですが、他大学の他学部に進学した  
友人と比較すると、ひどく出遅れた  
ような気がします。未だに総合科学  
部とは何かと考えてはいけな  
いような気がします。

他の学部より専門性には欠けると  
か、スタートが遅いということがあ  
るけれど、その広い情報はやはり大  
事だと思う。

▼自分のリンク集

現在選択必修で文系も理系の科目を  
学ばないといけないけれど、つな  
ぎをみつけれないと、総合するこ  
とはできない。そのための理系と文  
系のつながりはあるかどうか。

別に学んだことを全てつなげて、総  
合科学を作ることが総合科学の意味  
ではないと思う。学んだことは、自  
分の研究課題の参考目次みたいなも  
のでよいと思う。

柄への関心を失うことがないよう  
に、絶えずより広い視野から問題を  
問いつつ姿勢をくずさず、その為の  
訓練を自分で課しておくということ  
であろう。

講義は聞くものではなく、自らの研  
究の参考にしていく為の材料である  
と思うから、講義の善し悪しは個人  
の生かし方によって決まってくるの  
であって、どれを薦めるといふこと  
は言えないが、講義の内容というよ  
りも、講義の形をもっと研究して欲  
しいと思う。先生から聞くだけでは  
なくて、自らも積極的に参加し、問  
題点を討議していくようなゼミ形式  
の授業をもっと多くする必要がある  
。でなければ学生も単に単位を取  
るだけの授業になってしまいがちで  
ある。

総科でも総合科学を専門に携ってい  
る教官は存在しない。でも、総合的  
の研究を行って行く教官はいる。そ  
も総合科学って学問は存在しない  
し、なんでもできるっていう方法論  
も存在しないのだから、総合科学部  
でなんでもできるわけでもない。総合  
科学は、とりとめのないものであり、  
かつ個人によっても違うものであり、  
かつ答えは自分で見つけていかなく  
ればならない。なんでもやってくれ  
そうで、実はなんでもやってくれない。  
あとは、自分でやるしかないんじゃない

総科4大思考(こんな人が多い)  
「広い範囲での知識習得」  
「新しいことへの期待、可能性」  
「既存の学問にとらわれない総合的  
研究」  
「やりたいことを見つめる」

総合科学

総合科学は人間科学であり、生命科  
学であり、情報科学であり、環境科  
学です。すべてを生きて生けるも  
のが、パランスをとって共存してい  
く道を研究する科学です。生命・人  
間・社会・自然などに共通する、制  
御機構とか、発生・発展・老化とか  
いった現象が、どうして起るのか、  
その本質を解明する科学なのです。  
近代科学を充分に勉強し、同時にそ  
の欠点をも理解して、それを乗り越  
えることが、総合科学を学ぶ道です。  
近代哲学なり、近代物理学なりは、  
勉強せねばなりません。ただ総合科  
学部で、例えば哲学と物理学を勉強  
した上で、両者を比較してみると、  
近代科学の特色と欠点があはつきり  
かめるはずですよ。その欠点を克服す  
る道を求めることにより、いつしか  
総合科学に導かれるというわけ  
です。(今堀誠二)

総合科学という学問はない。だから、  
各自でテーマを探し、それに対して  
総合的見地で学際領域の研究を進め  
る。

ないですか。

学生は、与えられたものをこなして  
きたに過ぎない。

教官はある特定の専門を持って研究  
している。教養的教育に当たるとい  
つても、とりわけ、公務員試験に出  
るような一般常識の中の関連する分  
野を研究しているわけでもない。だ  
から、大学の講義は、あくまで専  
門の概念ないしは専門の一分野にす  
ぎない。それを覚悟の上で、講義は  
望まなければならない。

世に言われるように中途半端な学部  
だとは思わない。それではなぜその  
ように言われるのか。それは学生の  
姿勢がはたきりせず努力を怠って  
いる点が大いいために、ではないでし  
ょうか。

学部というものは自主的でなければ  
ならない。総合科学部に行けばいろ  
んなことを学べると考えればはな  
くて、だからこれとこれを学ぼうと  
いうプラス意識が必要。

なるほどとは思うものの、実際何を  
やって良いかわからない。学ぶ方法  
から身につけて行かねばならない。

ていく必要性がある。

総合科学部の意義

総合科学部での学問は、すべての問  
題解決の学問でなければならぬとい  
考えるのは、間違っていると思う。  
また、あらゆることを総合するのが  
総合科学だと考えることにも問題が  
ある。僕は、一つの対象を追求する  
時に、従来の個別科学の方法論から  
一歩踏み出して、関連した他の角度  
からの分析をも結びつけて行こうと  
する新しい学問方法論を学ぶ場所だ  
と考えている。(藤原健蔵)

変わり続ける学部

単に「何々の学科と何々の学科を併  
せて学びました」といった形の学際  
性ではなくて、人間生活の美態―人  
間をとりまく自然的社会的環境の仕  
組みや情報の獲得伝達の構造、諸国民  
の文化的伝統の諸相について、総合  
的な知見や判断力を養うということ  
である。いうまでもなく、困難な課  
題である。とくに、それを大学レベ  
ルのカリキュラムにどう結びつける  
かは、正直言って、われわれが未だ  
実験段階にあることを否定できない  
複雑さをもっている。しかしこの困  
難な課題を追求することなしには、  
われわれの総合科学部もその存在意  
識を失うであろう。(式部久)

得てして結果を急ぎすぎる。ある学  
問領域のエキスパートになるために  
は、それなりに一つの研究に打ち込  
まなければならない。その過程を軽  
視して結果だけ見ようとする傾向が  
総科生にはある。

何がやりたいか、何が自分にあっ  
ているのかと模索するのは必要。  
として何もしない2つのモトリア  
ム思考では歴然と結果が違ってくる  
ことを念頭に置かなければならな  
い。

モトリアムの過ごし方も活動的な  
方法で行うことが総科生には必要。  
広い視野と深い研究はなかなか両立  
し難いものなのであろう。いたずら  
につまみ食いには終始することなく、  
自分なりの視点を早く確立する事が  
必要不可欠ではないだろうか。

大学から出よう!  
大学に籠もることは相応しくない。  
大学はあくまでベース。外に出るこ  
とで社会という物を客観的に見る。  
社会、例えば書店でもいい。書店で  
は今社会でどんなことが起こって  
いるのか分かる情報がある。そこか  
ら新しい知的関心が生まれるかもし  
れない。

学部批判がこんなにもあるのは一つ  
の特色なのかもしれない。学部の理  
念を問いつける学部。良いものを目  
指していくのに柔軟な姿勢は必要で  
あるし、それに伴う犠牲は必ずしも  
避けることができない。

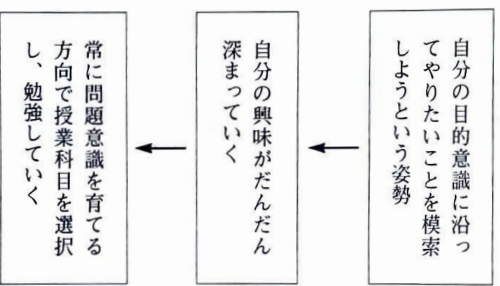
基礎的学力を

自然分野では、大局的な総合などは  
不可能で、いわゆる学際的な研究を  
めざすのが精一杯だと思う。しかも、  
学際研究や総合研究を行う力を身に  
つけるためには、学部時代の基礎的  
な勉強が重要だということを忘れて  
はならない。(岡本哲彦)

総科での学ぶ姿勢

大学入試ですべてが終わる。この学  
部を選んだ私たちは、今後どのよう  
に行動していくか、そのための現状  
を考えることが必要。

学際的・総合的ということも、最初  
から強く自分に求めなければならな  
いわけではない、と私は考える。自  
分の興味や関心の自然な発展に即し  
て、隣接した領域や関連した科目に  
手を伸ばしていけばいいのであって  
、それ以上のものではない。要は  
仮に一つのものに集中するとして  
も、そのことだけに溺れて、他の事



## 1. 大学時代にやっておきたいこと

サークルを作って、コンパしまくった。  
総合大学の特性を生かして他学部の友人をたくさん作って。  
車の免許の取得。

フルマラソンの完走、3時間13分03秒。

塾講師や家庭教師等で、人に何か教える経験。

沖繩の海で熱帯魚たちとサンゴ礁で泳いだこと。

大学の授業を真面目にうけたこと。たかが教養、されど教養  
英検の勉強、公務員試験の二次試験での英語  
(筆記・口述)で役立ちました。

## 交換留学

本をたくさん読んだこと。

ボランティア活動

学生のために開かれた情報処理設備などを頻繁に利用したこと

オリキャンのスタッフ。

パソコンの基本的な操作の練習

## 2. 大学で学んだと思うことは？

自然環境に関することを幅広く学びました。

自然環境を専門的に学べる大学はあまりないので、  
環境職の公務員に就職するのに役立ちました。

友人の利用の仕方、酒の飲み方、本の読み方  
生きていくうえで必要な事。

人間関係、お金の事、将来。

## 3. 総科で得たと思うものは何ですか？

様々な学問領域があること。

いろいろな考えをもった友達

「結局総合科学部で何を学んだらう？」という疑問(苦笑)。

「総合科学部卒」という、珍しい学歴。

いろんな分野を目指す人と知り合いになれた。

授業の規制が少なく、興味に応じて授業をとれた

自主性。自分で判断していかないと何もできないから。

自由であることゆえの義務と責任の重さの実感

## 行動力

総科に入ってくる人には行動力のある人が多い  
自分でよく考えるということ

ゆる

# 大学で何ができるか

大学で何をやるのかなんて、本人次第  
だけど、少しでも参考になるように  
広島大学総合科学部を卒業、又は  
卒業予定の人にアンケートを  
とってみました。

「先輩、大学で何ができますか？」

お気楽な大学生活を満喫中、ふと  
「大学で何やってんだろう？」  
と考えました。  
「今しかできないことをしたい」  
とか、「将来が不安だ。」  
とか、思ってる人もきっと多いはず。

## 4. もし1年に戻れるなら何をしたいですか？

大学外での意義ある活動を重視して生活していきたい。  
フェニックス駅伝で区間賞を獲得したい。

もうちょっと道を踏み外してもみたい。

## 旅行、バイト

また同じことをするだけなので、異なることもないと思う。  
服を買いたさって、もっと遊びたい。

第一外国語をもう少しがんばる。

英語を勉強したい

語学留学

パソコンはやらなくていい。

## 5. 新入生へのアドバイス

日々の努力を怠ることをしないで、一日一日を大切に  
してください。

常に大学の外に目を向けて明確なビジョンを持つこと！

周りに流される生活というのは決してしないように。

酒を飲みながらでもいい、人と本音で話し合える友人を持  
つことが大切です。

## やりたいと思った事はやっただ方がいい

幅広い学部から人が集まった目的意識のあるサークルに所  
属し、自分を磨いていってください。

## 4年間は、あっという間です。

気がついたら、あんだもババアよ(冗談めきで)。

20歳前後の青春真っ盛りの時期でいろいろな事に挑戦で  
きるはずなので、大事に時間を消費してください。

なりたい自分に近づけるチャンスが

大学時代にはたくさんありますから！

幸いにも広島大学は何をするにも比較的環境が整っている  
ので

何でもできる、何でも学べる、  
ということができると思います。

大事なのは「これをしよう」「これを学ぼう」といった  
自分の姿勢なんだよね

大学4年間はあっという間に終わるので、

したいと思ったことは、ためらわずにしてください。

第二外国語は慎重に選ぶように。

大した説明もなく急に選択を迫られる危険がある。

これをやっただと4年後にいえるような大学生活を送って  
ください。

人に真剣にぶつかれるのは大学生までなのだから

納得がいくまで話し合ったりして見た方がいいと思う。

とどかへ行動してみなければ、なんにも進まない

悩むばかりでなく、何か行動してみてください。



# なぜなに うさ彦の

## 大学生生活のススメ



うさ彦

博士、総科の事務棟とK・L棟の前を自転車で通ってはいけないのはなぜなんですか？

理由の一つとしては身障者の方に配慮しているというのがあるね。視覚障害を持った方は自転車が近づいても気付かないから、とても怖い思いをしておられるそうだよ。大学で学ぶ人すべてが過ごしやすい環境にするためにも、周囲の私たちが気をつけなければね。それから、工事区間の臨時道路も強度が弱いので、自転車を押して歩こう。

ゴミがたくさん落ちているのをよく見かけますね。

確かに。ゴミ箱の数が少ないというのも理由にあるかもしれないが、ゴミはゴミ箱へ捨てると言うぐらいのマナーは守ってほしいものだね。一人ひとりが気をつけなければ、すぐに汚れてしまうからね。壁の張り紙や教室での配布物も配った人が責任持って片付ける必要があるのではないかな。



博士



もう一つ気をつけないといけないのは分別だ。講義棟内にはゴミ箱を何箇所かに設置してあるのでゴミは分別して捨てよう。ペットボトルは洗ってから生協前に置いてあるリサイクルのための回収箱に入れよう。講義棟だけでなくエネルギーセンター(総科であれば、西体育館の南側)にも分別回収のためのゴミ箱を設置してあるのでちゃんと分別して捨てようね。特にエネルギーセンターでなら新聞、雑誌、ダンボールや上質古紙などの紙の分別も行っているよ。



じゃあ博士

トイレが禁煙って本当なんですか？

そういう張り紙をはつてるとこもあるね…ところであさ彦君、君はタバコを吸っているのかね？(少しの間)

まあいいんだがね、…体に良くはないからね、気をつけなさいね。タバコを吸うなどまでは言わないけれど、吸うならちゃんとマナーを守ることだね。禁煙とされている場所では吸ってはいけない、例えば生協とか食堂とかもそうだね。吸殻や灰は設置してある灰皿に捨てよう。タバコの煙がダメな人もいるからね、吸う場所は選んで吸いなさいね。



文責：北岡未紗  
島田基世